

おわりに

琵琶湖・淀川流域における水質改善技術の研究、開発の拠点として、また、広報及びPR の場として、国土交通省、滋賀県、独立行政法人水資源機構及び財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構の4者が共同で運営する琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センターが平成9年7月に設置され14年間に渡り、民間企業や大学等の参加を得て、59の実験、調査が行われてまいりました。

技術広報のために、延べ1,500人の参加を得て5回の研究成果発表会、国外から延べ2,000人、国内から延べ16,000人の来訪者のあった施設見学会等、自然の浄化機構と浄化技術の伝達等に寄与してまいりました。

この度、本実験センターを閉鎖するにあたり、センターの構想、建設、運営、調査等に携わっていただきました関係各位のご尽力に対して心からの感謝と、御礼を申し上げます。次第であります。

ここで得られた技術が、全国の水系で、水質浄化施設として活用されておりますが、本誌が今後の水質浄化等の技術の向上に対し、少しでもお役に立てれば幸いです。

琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センター運営検討会

